

---

雨

雷雲

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雨

### 【著者名】

雷雲

### 【Zマーク】

N2725R

### 【あらすじ】

ほとんど心情が書かれた短い小説です。

ふと、眠気はないのに知りず知りずのつま恋を閉じじむ」とがある。

もしかして、あの事のせい?

いや、あれはもう自分の考えから消し去った。消し去ったはずだ。

無謀なんだ。自分がやりたいことなんて。

遊びで言っちゃえば?

僕の秘めた思いを知った、いや、知つてしまつた者が言つた言葉がふと脳裏に浮かぶ。

それを否定した自分も。

○どひして言えない?

A……怖いから。

昔から嫌われ者だつた自分の考えを受け入れてくれるわけがない。

キモい、ブサイク、消えろ、そんな兩のよつな罵声は慣れるほど浴びてきた。

たとえ教師が注意しても、親が注意しても、その雨が止むことはない。

全てを投げ出す水溜りは今も広がっていく。

どれだけ身体能力を向上させようと。

どれだけ勉強して成績を上げようと。

その雨は止まない。むしろひどくなつていいく。

なぜ？

なぜ容姿で人は差別されるの？

自分はそう訴えたい。でも訴えるとそれを否定するかのように笑われる。

告白したほうが言えないよりもマシ…！

そんなメッセージを耳にしたことがある。それは、容姿が良い人間だけに当たる考え方では無いか？

自分みたいな容姿の者は当然好かれる事も少ない。面白い人間でもない。

そんな者はますます嫌われるか、相手を困らせる。

外見が悪くても中身が良かつたらいい。

そんな綺麗」と聞いたことがある。自分の利益だけを考えたその言葉を。

そんな考えを持つ人もこの世界にいるかもしれないが、ほとんど人は印象はまず外見で決まるのだ。

他人からよく好意を持たれるのは容姿がいい人間たちだ。その事実は決して変わらない。

自分みたいな罵声を浴びせられる容姿の者の考え、ましてや告白など、受け入れてくれるはずがない。

相手を困らせるだけだ。それは自分にとつてしまたくない。その人は大切だから。

帰り道、今日は、冷たい雨が降っている。雨傘がバタバタと音を鳴らす。

雨は好きだ。自分を慰めてくれるような感じで。隠してくれるような感じで。

雨傘もいらない。もっと自分を慰めてくれるのならば。

前に、あの人がある。きっと、自分を見ると、嫌な顔をするんだろつた。

でも、足が速く動いてしまう。会いたい。話をしたい。し続けたい。

自分は、その行動に苛立ち、焦りを感じ、その人を追い抜かした。そのままあの人との視界から消えればいい。自分はあの人にとってただの障害物に過ぎないんだ。

自分は眼に違和感を感じながら水溜りだらけの道を駆け抜けて行つた。

(後書き)

この考え方、否定してもいいです。ポジティブな人もいるし、ネガティブな人もいるんですから……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2725r/>

---

雨

2011年2月28日22時15分発行